

事業報告等

2017（平成 29）年度 事業計画

【重点事業計画（キャンパス整備）】

教育研究環境の整備－教育施設の維持・管理

- ・施設に対する危険防止対応の充実を行います。
- ・必要不可欠で、かつ不足している施設の補充検討および対応を行います。
- ・ICT 教育導入の検討及びそれに伴う情報環境整備の検討を行います。
- ・近隣住民からの意見にも配慮した施設の整備に努め、地域との良好な関係を築いていきます。

【重点事業計画（入試政策）】

入学試験の制度・施策・実施方法等の全学的な検討－入学試験制度の充実

- ・入学試験問題の質的向上をはかります。
- ・附属学校にふさわしい学力水準の生徒の確保及び入学定員の安定的確保を目指した入試制度の改革を行います。

【基本計画（教育力）】

学修支援体制の強化－教育内容の充実・教育改革の推進

① 教育内容の充実

- ・「渡邊たま奨学基金」を活用した生徒への新たな教育活動支援事業の実施を考えます。
- ・「国際理解教育」を活発、かつ発展的に展開します。
- ・充実した教育活動を展開するための財源の確保に努めます。
- ・附属学校にふさわしい学力水準の生徒を確保しつつ、入学定員の安定的な確保に努めます。

② 教育改革の推進

- ・中・長期計画に基づいた専任教員の補充を継続的に実施します。
- ・教員の研修は教科、分掌単位で継続的に進めます。
- ・保護者、参観者、第三者、本人等による授業評価を行い、この定点実施と分析を行い、生徒力養成との連携をはかります。
- ・中高大連携および独自のキャリア講座を計画的に導入します。
- ・希望進路実現のために講習、講座、などの充実をはかります。
- ・体罰やいじめなどに関する正確な調査と、未然防止および適切な対応に努めます。

【経営・財政計画（経営・運営政策）】

危機管理体制の強化－危機管理対策の充実

- ・定期的な防災、火災避難訓練を実施します。
- ・「防災組織」を中心とした危機管理対策の整備・検討を継続します。
- ・災害時の備品、備蓄品を継続整備します。
- ・生徒の登下校時、教員によるマナー指導、警備員の立哨による安全確保を継続的に推進します。
- ・海外研修等に向け、危機管理に関する研修や検討を行います。